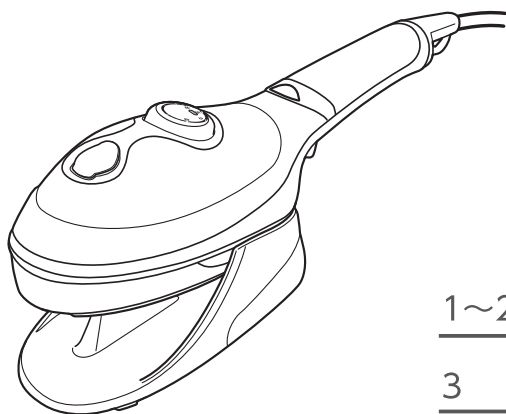


**Vialegre** ビアレグレ  
ENJOY LIFE FOR YOU

ハンディーアイロン&スチーマー  
**VT-SA211**  
**取扱説明書**

家庭用



- このたびは、お買い上げいただきまして、誠にありがとうございました。
- この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。特に「安全上のご注意」は、ご使用前に必ずお読みいただき、安全にご使用ください。
- この取扱説明書は必ず保管し、必要なときにお読みください。
- この製品は一般家庭用です。業務用などにご使用にならないでください。

保証書付

保証書はこの取扱説明書の裏表紙についています。必ず記入を受けてください。


1~2	安全上のご注意
3	使用上のご注意とお願い
3	繊維製品の取扱いとご使用の目安
4	各部の名称とはたらき
5~8	使いかた
9~12	きれいにアイロン、スチーマーをかけるには
12~13	お手入れ
13	こんなときは
14	アフターサービス/仕様


VT-SA211

# 安全上のご注意 必ずお守りください。


製品および取扱説明書には、お使いになるかたや他の人への危害と財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。次の内容(表示・図記号)をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。


## ●表示の説明

 **警告** 「死亡または重傷を負うことが想定される」内容です。

 **注意** 「傷害を負うまたは物的損害が発生することが想定される」内容です。

## ●図記号の説明

 は、してはいけない「禁止」の内容です。

 は、必ず実行していただく「強制」の内容です。

## 警告



強 制

**異常・故障時には直ちに使用を中止し、電源プラグを抜いてください。**

発煙・発火・感電・けがの原因になります。  
販売店に点検・修理を依頼してください。

- ・電源プラグや電源コードが異常に熱くなる。
- ・電源コードに傷が付いていたり、電源コードを動かすと通電したりしなかったりする。
- ・こげくさい臭いがする。・かけ面や取っ手が異常に熱い。・その他の異常、故障がある。



分解禁止

**絶対に分解・修理・改造は行わないでください。**

発火したり、異常動作によるけがの原因になります。  
修理は、お買い上げの販売店または、「お客様サービス係」にご相談ください。



ぬれ手禁止

**ぬれた手で使用したり、電源プラグを抜き差ししないでください。**

感電やけがの原因になります。



強 制

**電源プラグのホコリなどは定期的に拭き取ってください。**

電源プラグにホコリなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。

- 電源プラグを抜き、乾いた布で拭いてください。



接触禁止

**使用中や使用直後は高温部(かけ面・スチームなど)に触れないでください。**

かけ面200℃、スチーム約130℃の高温となります。



禁 止

**子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところで使わないでください。**

やけど・感電・けがをする恐れがあります。



プラグを抜く

**使用時以外は必ず温度調節ダイヤルを「切」にし、電源プラグをコンセントから抜いてください。**

火災や事故の原因になります。



強 制

**定格15A以上、交流100Vのコンセントを単独で使ってください。**

他の器具と併用すると分岐コンセント部が異常発熱して発火することがあります。



禁 止

**電源コードを傷つけたり、破損させたり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。また、重い物をのせたり、挟み込んだりしないでください。**

電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。

## 警告



禁止

電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しないでください。

感電・ショート・発火の原因になります。



根元まで  
差し込む

電源プラグは根元まで確実に差し込んでください。

感電・ショート・発火の原因になります。



水ぬれ禁止

本体を水につけたり、水をかけたりしないでください。また、浴室内で使用しないでください。



水場での  
使用禁止

ショート・感電の原因になります。

## 注意



プラグを抜く

給水・排水時は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

感電することがあります。



強制

電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜いてください。

感電やショートして発火することがあります。



禁止

人や身体および着用したままの衣類に、スチームをかけないでください。またアイロン台を通過するスチームに気をつけてください。

やけどの原因になります。



禁止

絵表示より高い温度目盛でアイロンかけしないでください。

布地を傷める原因になります。



禁止

引火性のもの（ガソリン、ベンジン、シンナー）の近くで使用しないでください。

火災や故障の原因になります。



禁止

製品にコードを巻きつけないでください。

ショート・発火することがあります。



強制

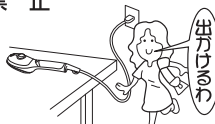
電源プラグを差し込む前に衣類ブラシ、ワイドスチームアタッチメントを着脱してください。

高温になりやけどの恐れがあります。



禁止

通電したまま放置しないでください。



けがややけど、絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になります。



強制

製品を運ぶときは、製品が十分に冷えていることを確認してください。

けがや、やけどの原因になります。



禁止

落としたりぶつけないでください。

感電・発火の原因になります。



禁止

アイロンを激しく動かさないでください。

やけど・水もれの原因になります。



禁止

スチームボタンを連続してはやく操作しないでください。

3秒間隔よりはやく操作すると、湯滴が出てやけどや衣類を汚す原因になります。



強制

ご使用後はタンクの水を抜いて保管してください。

水がこぼれたり、次回のご使用時に電源を入れるとスチームや熱湯が吹き出ることがあります。



強制

使用中に置くときは必ずスタンドに置いてください。

けがや、やけどの原因になります。

# 使用上の注意とお願い

- アイロンかけの際、アイロン本体をアイロン台からはみださないようにしてください。スチームによるやけどの原因になります。
- ボタン・フック・ファスナーなど固いものに直接かけないでください。かけ面のフッ素樹脂加工を傷つけます。
- スチームには上水道の水をご使用ください。
- ミネラルウォーター・整水器の水やリネンウォーターなどの香料を含んだ水などは入れないでください。タンク破損や衣類を汚す原因になります。
- 業務用や他の目的に使用しないでください。過負荷による故障の原因になります。







## 〔カラカラ〕音・〔カチカチ〕音について

- 製品を動かした時に「カラカラ」と内部で音がする場合がありますが、弁の音です。異常ではありません。
- 使用中に「カチカチ」と内部で音がする場合がありますが、自動温度調節器（サーモスタット）が動作している音です。異常ではありません。





# 繊維製品の取り扱いとご使用の目安

- おかけになる繊維製品に日本工業規格（JIS）で定められた絵表示がある場合、温度設定位置との関係は下表の通りです。

## 絵表示と温度の関係

繊維製品の絵表示	2016年11月までの絵表示			
	2016年12月以降の絵表示			
繊維の種類	アクリル・アクリル系 ポリウレタン ポリプロピレン ビニリデン	絹・毛・ナイロン・ビニロン レーヨン(長繊維) キュプラ・アセテート ポリエステル・トリアセテート	綿・麻 レーヨン(短繊維) ポリノジック	
温度設定位置	低	中	高/スチーム	
アイロンかけ面の温度	約100℃	約150℃	約190℃	
設定温度になるまでの時間	約20秒	約30秒	約40秒	

## 絵表示の見方(例)

2016年11月までの絵表示	2016年12月以降の絵表示	意味
	言葉で表現されます。 (例) あて布使用	指定された温度であて布をする意味です。
	言葉で表現されます。 (例) 裏からかける	指定された温度で布地の裏からかける意味です。
		アイロンかけはできません。

その他、「スチーム禁止」などの表示がある場合は必ずその指示に従ってください。

- 衣類に絵表示がある場合は、絵表示に合わせてください。
- 絵表示のない場合は、繊維名に従い温度を合わせてください。混紡の場合は、低い方の繊維温度に合わせてください。
- 使用中、アイロンを止めたり、極端にゆっくり動かしたりすると、布地に合った温度でも布地を傷めることがありますので気をつけてください。
- 熱に弱い繊維（化繊・絹・毛など）にアイロンをかけるときはあて布をするか、目立たない部分に「ためしかけ」をして異常のないことを確認してからかけてください。
- ビニロンに湿り気を与えてアイロンかけをしないでください。

# 各部の名称とはたらき

## 温度調節ダイヤル

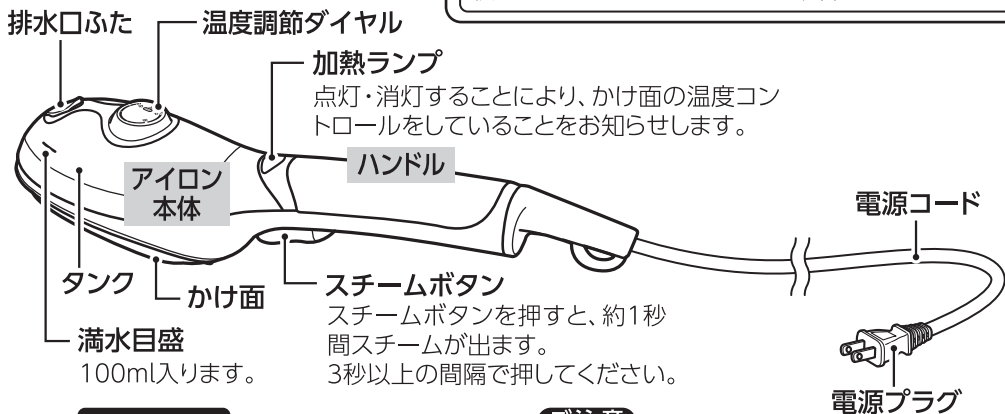


## 注水口ふた

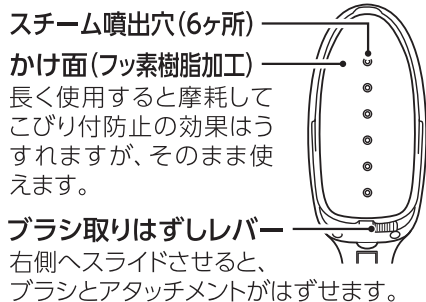
タンクに水を入れるときは、電源プラグをコンセントから抜き、スイッチが「切」になっていることを確認してから計量カップで入れてください。

## 初めて使用する際のタンク内部の水滴について

タンク内部に水滴がついている場合があります。検査をしてお届けしているため、異常ではありません。



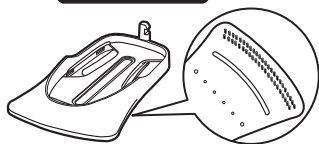
## かけ面



## ご注意

- スチーム噴出時に白い粉が出ることがありますが、水に含まれる鉱物質などが出るもので異常ではありません。白い粉が衣類についた場合は、払っていただくと取れます。
- 洗濯した衣類に汚れや洗剤が残っている場合、アイロンの熱を加えると、衣類が茶色になることがあります。衣類をよくすすぎ、乾かしてからアイロンかけをしてください。

## 付属品



### ワイドスチームアタッチメント…1

スチームをかけるときに使用します。シワ取りと同時に衣類のほこりを取ります。



### 衣類ブラシ…1

ほこりや小さなごみを取る時に使います。スチーム時にも使えます。



### 繊維案内表示

### スタンド…1

通電後に本体を置く場合、必ずこのスタンドに置いてください。



### 計量カップ…1

(150ml)  
タンクに水を入れる時に使います。

# 使いかた

## 1. タンクに水を入れます。

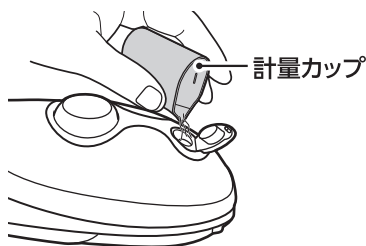
スチームアイロン

スチーマー

### △注意

給水・排水時は、電源プラグをコンセントから抜いてください。感電することがあります。

**ドライアイロン** としてお使いになるときは、タンクに水を入れなくてもお使いいただけます。  
(⇒ 3. へ)



- ① 注水口ふたを開けます。
- ② 付属の計量カップで満水目盛まで上水道の水を入れます。100mlで満水になります。それ以上水を入れるとあふれます。
- ③ タンクの回りについた水滴を拭き取ります。
- ④ 注水口ふたを「カチン」と音がするまで確実に閉めます。閉めないとアイロンを横や逆さまにしたとき水もれしたり、熱湯でやけどすることがあります。

### お願い

- タンクに水を入れる際には必ず計量カップをご使用ください。
- 直接、水道から入れると水があふれ、製品内に入り感電・故障・ショート恐れがあります。
- 上水道の水をご使用ください。
- ミネラルウォーター・整水器の水やリネンウォーターなどの香料を含んだ水などは入れないでください。

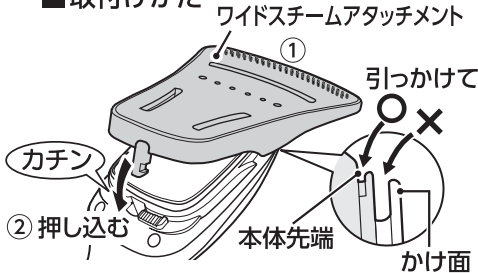
### ご注意

- 初めてお使いになるときは、スチームから臭いがすることがありますので、数回スチームを空噴きしてからご使用ください。
- かけ面の温度が上がらないうち（通電開始から約40秒以内）や、温度調節ダイヤルを、「高」より低い温度に設定したとき、またスチームボタンを連続で押してスチームを出すと、スチーム噴出穴から水や熱湯が噴き出すことがありますので、ご注意ください。
- かけ面を上にした状態では、スチームが出にくいことがあります。かけ面を下向きにして、スチームボタンを2～3回操作してからご使用ください。
- スチーマーとして使用するとアイロンやタンクの表面に水滴が付着することがあります。これはスチームが結露したものです。水滴が多いときは拭き取ってください。
- ブラシが濡れた状態で衣類に押しつけると、まれに色移りすることがありますので、ご注意ください。
- アイロン内にたまった水がスチームになってスチーム噴出穴から出てきます。前回使った水がアイロン内にあるときは、通電を開始してしばらくするとスチームが出ることがありますのでご注意ください。
- 衣類を着たままで使用しないでください。
- 皮革製品や着物などにはスチーマーとして使用しないでください。
- 大切な衣類や高価なものは目立たないところで「ためしかけ」をしてから、お使いください。

## 2. スチーマーとしてお使いのときは、ワイドスチームアタッチメント、衣類ブラシを取付けます。

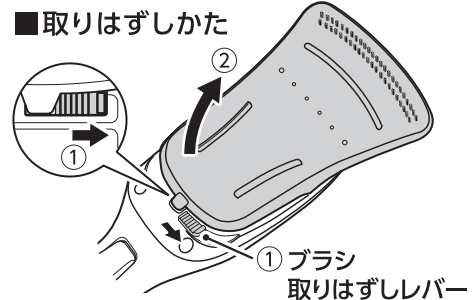
〈ワイドスチームアタッチメントを取付ける〉

### ■ 取付けかた



- ①ワイドスチームアタッチメントの手前をアイロン本体のかけ面先端に、図のように引っかけます。
- ②「カチン」と音がするまで矢印の方向に押し込みます。

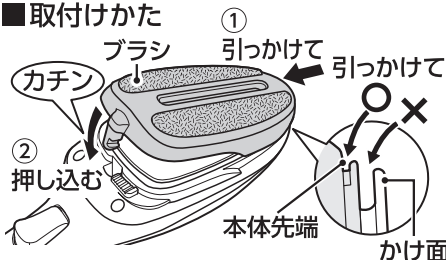
### ■ 取りはずしかた



- ①アイロン本体のブラシ取りはずしレバーを矢印の方向に動かします。
- ②ワイドスチームアタッチメントを矢印の方向に取りはずします。

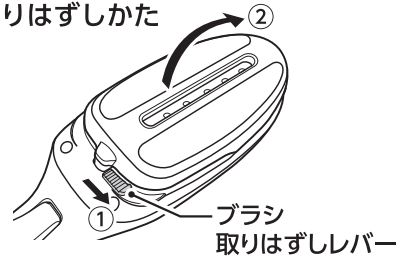
〈衣類ブラシを取付ける〉

### ■ 取付けかた



- ①衣類ブラシの手前をアイロン本体のかけ面先端に、図のように引っかけます。
- ②「カチン」と音がするまで矢印の方向に押し込みます。

### ■ 取りはずしかた

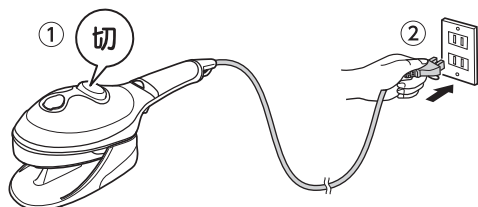


- ①アイロン本体のブラシ取りはずしレバーを矢印の方向に動かします。
- ②衣類ブラシを矢印の方向に取りはずします。

### ご注意

- 使用中はワイドスチームアタッチメント、衣類ブラシが高温になります。
- 必ず、電源プラグをコンセントに差し込む前に、衣類ブラシ、ワイドスチームアタッチメントの着脱操作をしてください。着脱の際は必ず衣類ブラシ、ワイドスチームアタッチメントの温度に注意してください。
- 最初はワイドスチームアタッチメント、衣類ブラシの取付けが固い場合があります。

### 3. 電源プラグをコンセントに差し込みます。



#### △警告

電源コードをたばねたまま使用しないでください。火災や感電の原因になります。

- ① 温度調節ダイヤルを「切」にします。
- ② 電源プラグをコンセントに差し込みます。

#### お願い

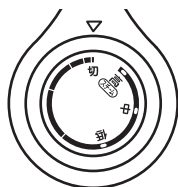
衣類を整えている間などは、本体は必ずスタンドの上に置いてください。

### 4. 温度調節ダイヤルを回して、温度を設定します。

温度調節ダイヤルを使用したい温度に合わせて、加熱ランプが点灯します。

- 温度調節ダイヤルが「切」の場合は、加熱ランプは点灯しません。

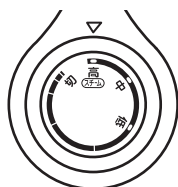
#### ドライアイロンとして使用するとき



#### 繊維に適した温度に合わせる

衣類に絵表示があるときは、絵表示に従って合わせ、ないときはスタンド部の繊維案内表示を参考にしてください。

#### スチーマー/スチームアイロンとして使用するとき



#### 必ず「高」に合わせる

「高」以外に設定すると、水もれしたり、スチームが出ないことがあります。

#### ご注意

- 初めて通電したとき、多少のにおいや煙が出ることがありますが、異常ではありません。ご使用にともない出なくなります。
- 温度調節ダイヤル「高」以外でスチームボタンを押すとスチームに湯滴がまじります。



## 5. 使用します。

### ⚠警告

電源コードをたばねたまま使用しないでください。電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。

### ドライアイロン

### スチームアイロン



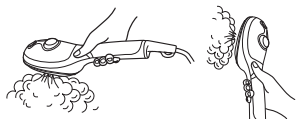
- 温度設定を高い温度から低い温度に変えた場合は、加熱ランプが一度点灯した後、再び消灯してからご使用ください。

### ご注意

- 加熱ランプが消えてからお使いください。
- 衣類を整えている間などは、本体は必ずスタンドの上に置いてください。

### スチームー シワを取ったり、毛製品をふっくら仕上げるときに。

かけ面を水平またはかけ面を上にして垂直に立てたり、かけ面を横にして3秒以上の間隔でスチームボタンを操作します。



〈スチームーの「ためしかけ」をしてからお使いください。〉  
(特にウール・カシミアなどの起毛性衣類)  
「ためしかけ」は、衣類の目立たない所で、かけ面を10cm程度はなして試し、徐々に近づけて試します。

### ⚠注意

スチームボタンを連続してはやく操作しないでください。  
3秒間隔より早く操作すると、湯滴が出てやけどや衣類を汚す原因になります。

### ご注意

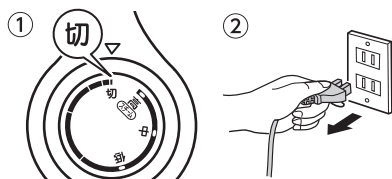
- 加熱ランプが点灯中は温度が低いので、湯滴が吹き出ることがあります。
- 特にウール・カシミアなどの起毛性衣類にかけ面を近づけて使用しますと毛並みが乱れて変色(色が濃くなる)したように見えます。

### 〈スチームが出にくいとき〉

- 使いはじめ…スチームボタンを2~3回操作してください。  
それでもスチームが出にくいときは、さらにスチームボタンを押してください。
- タンクの水が少なくなったとき…満水目盛まで水を入れてください。

## 6. 使用後は

### 1. 電源を切ります。

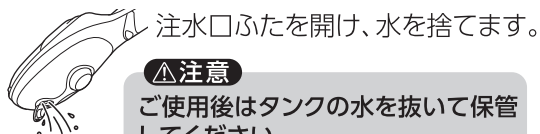


- ① 温度調節ダイヤルを「切」にします。
- ② 電源プラグをコンセントから抜きます。

### スチームアイロン

### スチームー

### 2. 水を捨てます。



### ⚠注意

ご使用後はタンクの水を抜いて保管してください。

水がこぼれたり、次の使用時に電源を入れるとスチームや熱湯が吹き出ることがあります。

# きれいにアイロン、スチーマーをかけるには

綿や麻など生地がざっくりしたものはしわがスチームでは取れにくいものがあります。霧吹きをしてからドライアイロンをかける事をおすすめします。

## アイロンかけのコツ…洗たくものが乾いてからアイロンをかけましょう。

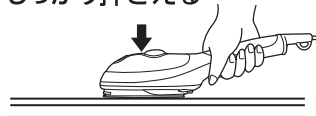
〈アイロンの持ちかた〉 片方の手でぬい目を引っ張ったり、布を押さえたりしながら両手を上手に使いましょう。

軽くすべらせる



もどりジワを防ぐため一方方向に軽くかけるのがコツです。

しっかり押さえる



ガンコなシワ、厚手の布地の折り目つけなどは、しっかり押さええます。

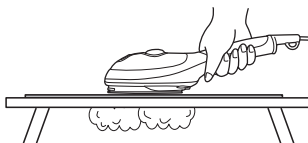
軽く浮かせる



毛足の長い繊維やにおいとりは軽く浮かせてスチームをあてます。

## 〈ワンポイントアドバイス〉

● スチームが下へよく通るアイロン台を使いましょう。



スチームが布地の中まで入り、仕上がりがよくなります。

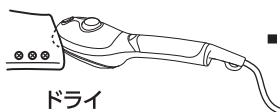
### ご注意

アイロン台を通過するスチームに注意してください。やけどの恐れがあります。

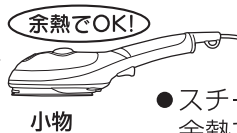
● アイロンかけは順序よく



スチーム



ドライ



小物

● スチームを先に、小物は余熱でかけます。

● 低い温度のものから高い温度のものへ 順番に布地に合った温度でかけます。

アイロンかけの前に衣類を分類しておけば能率的です。

### ご注意

高い温度から低い温度に設定すると、低い温度になるまで十数分かかる場合があります。

### お願い

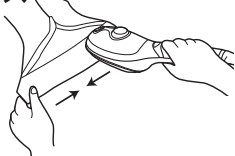
アイロンかけは、フローリング・畳・絨毯などの上で直接使用せず、アイロン台の上で行ってください。

はじめに裏面からかけ、最後に表面をかけるときれいに仕上がります。



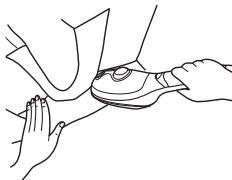
## ワイシャツ

### 1. カフス



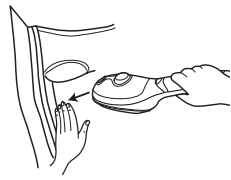
- 裏面から、ぬい目を引っ張りながら両側中央に向かって。
- カフスは生地が厚いので、裏表からかける事によりシワがきれいに伸びます。

### 2. 肩



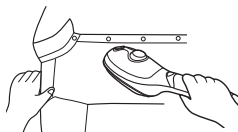
- 後ろヨークの両端を折りたんで後ろに引き寄せる。
- エリのまわりにそってかける。

### 3. 後ろ身ごろ



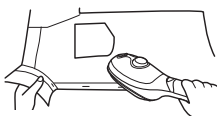
- 裏面から軽くすべらせるように。
- ヨークの部分はアイロンの先端を使って。

### 4. 下前身ごろ・下前立て



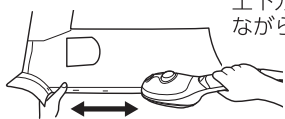
- ヨークの部分はエリを引っ張りながら。
- ボタンのまわりはアイロンの先端を使って。

### 5. 上前身ごろ



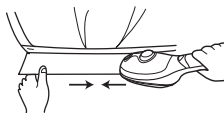
- 軽くすべらせるように。
- ヨークの部分はエリを引っ張りながら。
- ポケットは下から上にすべらせる。

### 6. 上前前立て



上下方向に引っ張りながら。

### 7. エリ



- ぬい目を引っ張りながら両端の中央に向かって。
- スプレーのりをかけたときはドライアイロンで。

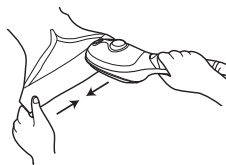
## ネクタイ

### 結びじわ・たるみを取る



裏面からスチームをかける。

### 8. 袖口



- はじめに裏面から。
- アイロンの先を使い左手で布を引っ張りながら端から中央へ。表面も同じ要領で。



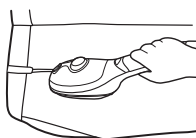
## パンツ

### ひざのたるみを取る



たるんでいる部分にらせん状にスチームをかける

### タック



- 立体的に仕上げるためにバスタオルを中に入れてタックをかける。
- タックは、前のラインに合わせて10cmくらい押さえしておく。

## 〈綿や麻などには霧吹きをしましょう〉

霧吹きをしてからドライアイロンをかけるときれいに仕上がります。

## 〈かけ面に衣類がからみつくときは〉

静電気が発生していますので、衣類の端まですべらせてからアイロンを持ち上げます。

## 〈スプレーのり等の仕上げ剤を使うときは〉

成分にシリコンが配合されたものをお使いください。

衣類にスプレーしてからひと呼吸おき、のりを衣類になじませてからかけると、アイロンがかけやすく効果的です。

洗濯物をよく乾かしてからスプレーのりをかけ、必ず「あて布」をしてドライアイロンかけをします。

少し固めに仕上げたいときは… **スプレーのり** → **アイロンかけ(ドライ)** を繰り返します。  
(一度に多量のスプレーのりをかけると、かけ面にこびりつく原因になります。)

## 〈洗たくのり付けをした生乾きの衣類には〉

必ず「あて布」をして、ドライアイロンをかけてください。

## 〈アップリケや接着芯などを接着するときは〉

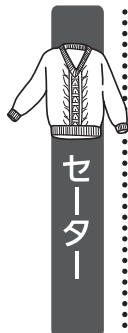
必ず「あて布」をして、アイロンかけをしてください。

説明書が添付されているときは、それに従ってください。

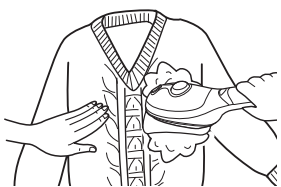
かけ面にのり成分が付着した場合は、かけ面が冷えてからその都度お手入れをしてください。

のりが付着したままお使いになると、かけ面にこびりついて、とれにくくなります。また、そのままぬれた布にアイロンかけをすると、色移りする場合があります。

## スチーマーのコツ…ワイドスチームアタッチメントを使用します。



### 1. 全体仕上げ



アイロンを少し浮かせてスチーム(数回)を全体にかける。

### 2. そで口



タテ方向に引っ張りながらスチームをかける。

### 3. ゴム編み部分



●手で縮めて形を整えながら。  
●たっぷりスチームをかける。

## 〈使用例〉

アイロンかけのしにくい背広の肩などの立体的な部分の仕上げに



- ハンガーにかけたまま端を軽く引っ張りながら、ブラシで衣類をなでるようにしながらスチームをかけます。
- ガンコなシワの場合は衣類に近づけて、スチームを多めにあててください。

アイロンかけのむずかしい薄物の服や毛足の長いコートの上に



- ハンガーにかけたままブラシを衣服から離してスチームをかけます。コート類は、スチームをかけた後、軽くブラシをかけます。

いやなおいとりに



- しまいこんでいた衣類の防虫剤のにおいや衣類にしみついたタバコのにおいなどは全体的にスチームをかけます。

カーテンやカーペット・ソファーなどの移動しにくいもののくせとりに



衣類のたたみジワなど、お出かけ前の忙しいときのしわのばしに  
テカリや静電気の軽減にも役立ちます。

## お手入れ

電源プラグをコンセントから抜き、製品が冷めてからお手入れをしてください。

### アイロンやスタンドの汚れ



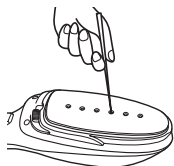
少量の中性洗剤を水でうすめ、布に浸してからよくしぼって拭き、そのあと乾いた布で拭きとってください。

### かけ面の汚れ



スプレーのりを使った後は、その都度ぬれた布で拭いてください。

### スチーム噴出穴のつまり



- つまようじなどでゴミをとりのぞき、ぬれた布で拭いてください。
- その後、スチーム温度に加熱してから、ご不用の布地の上で数回スチームを噴出してください。

# お手入れ(つづき)

## ⚠警告

本体を水につけたり、水をかけないでください。



ショート・感電の原因になります。

## ■衣類ブラシ

パッキン



## ■ワイドスチームアタッチメント

パッキン



パッキン部分についていた白い粉(カルキ成分)は、都度ぬれた布で拭いてください。

## ○お願い

- アイロンの内部にピンや針金を入れないでください。
- シンナー・ベンジン・スプレー式クリーナー類、アルカリ性洗剤では絶対に拭かないでください。
- アイロンのかけ面は金属ブラシやみがき粉、塩素系漂白剤でみがかないでください。かけ面がいたみます。

# こんなときは

こんなときは?	調べるところ	処 置
熱くならない	電源プラグがコンセントから抜けていませんか?	電源プラグをコンセントにしっかり差し込んでください。
	布地に合った温度に設定していますか?	設定温度を適温に合わせてください。
	温度調節ダイヤルが「切」になっていませんか?	布地に合った温度に合わせてください。
スチームが出ない 少ない	タンク内にゴミが入っていませんか?	きれいな水道水で洗い流してください。
	スチームボタンを3~4回押しても出ませんか?	本体を振ってからスチームボタンを押してください。
	温度調節ダイヤルは「高」に設定してありますか?	温度調節ダイヤルを「高」に合わせてください。
	スチーム噴出穴にゴミや水あかがつまっていますか?	つまようじなどで噴出穴のつまりを取り除いてください。
	かけ面を上にしてスチームしていませんか?	かけ面を下に向けスチームボタンを3~4回押ししてみてください。
水もれ・湯滴	低い温度でスチームボタンを押していませんか?	温度調節ダイヤルを「高」に合わせてください。
	通電直後に使用していませんか?	加熱ランプが点灯しているときは、消えるまで待ってください。
	スチームボタンを3秒間隔よりはやく操作していませんか?	スチーム使用時はスチームボタンを3秒以上の間隔で押してください。
布地が焦げる	布地に合った温度に設定していますか?	温度設定を適温に合わせるか、あて布をしてください。
	目盛を「高」から「低」に変えたとき、加熱ランプが一度点灯した後、再び消灯してから使用していますか?	加熱ランプが一度点灯した後、再び消灯してから使用してください。
	「高」以外の繊維にスチームをかけるとき、衣類に直接かけ面を当てていませんか?	衣類ブラシやワイドスチームアタッチメントを取付けて使用してください。

# アフターサービス

## 1. 保証書

- 裏表紙に添付しています。
- 保証書は「お買い上げ日と販売店名」の記入をお確かめのうえ、販売店からお受け取りください。
- 保証書をよくお読みになり大切に保管してください。

## 2. 保証期間

お買い上げ日から1年間です。  
なお、保証期間中でも有料修理になることがありますので、保証書をよくお読みください。

## 3. 修理を依頼される時

取扱説明書の内容をお確かめいただき、なお異常があるときには電源プラグを抜いてからお買い上げの販売店または「お客様サービス係」に修理をご相談ください。

### ●保証期間中の修理

保証書の規定により無料修理します。  
製品に保証書を添えてお買い上げの販売店または「お客様サービス係」までお申し出ください。

### ●保証期間がすぎている修理

修理により使用できる製品は、お客様のご要望により有料で修理させていただきます。お買い上げの販売店または「お客様サービス係」にご相談ください。



**警告** お客様ご自身の修理は大変危険です。  
絶対に分解したり修理・改造は行わないでください。

## 4. 補修用性能部品の最低保有期間

- このハンディアイロン&スチーマーの補修用性能部品の保有期間は製造打切り後5年です。
- 性能部品とはその製品の機能を維持するために必要な部品です。

## 5. アフターサービスについてご不明の場合

お買い上げの販売店または「お客様サービス係」にお問い合わせください。

### 〈修理料金のしくみ〉

修理料金は、技術料・部品代などで構成されています。

技術料	故障した製品の修理および部品交換などの作業にかかる料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。

### 〈修理部品について〉

修理部品は、部品共有化のため、一部仕様や外観色を変更することがあります。

### お客様サービス係

☎(フリーダイヤル) 0120-337-455

FAX (0256) 93-1077

お電話承り時間：平日(月曜～金曜)午前9時～午後5時

〒959-0292 新潟県燕市吉田西太田2084-2

# 仕様

電 源	AC100V 50-60Hz
消 費 電 力	800W
電 源 コ ー ド(約)	2.5m
注 水 量(約)	100ml
か け 面 の 面 積(約)	65cm <sup>2</sup>
蒸 気 発 生 方 式	滴下式
製 品 質 量(約)	640g(本体)、940g(付属品込)
アイロン寸法(約)	幅345mm×奥行76mm×高さ96mm
スタンドセット時寸法(約)	幅354mm×奥行84mm×高さ114mm
スタンドセット時(アタッチメント有)寸法(約)	幅366mm×奥行101mm×高さ120mm

この製品は、日本国内用に設計・販売しています。電源電圧や周波数の異なる国では使用できません。海外での修理や部品販売などのアフターサービスも対象外となります。

### ★長年ご使用のハンディアイロン&スチーマーの点検を！

#### 愛情点検



ご使用の際  
このようなことは  
ありません。

- 電源プラグや電源コードが異常に熱くなる。
- 電源コードが傷ついたり、電源コードを動かすと通電しなかったりする。
- こげくさい臭いがする。
- かけ面やハンドルが異常に熱い。
- その他の異常・故障がある。

ご使用中  
止

故障や事故防止のため、コンセントから電源プラグをはずし、必ず販売店にご連絡ください。  
点検・修理に要する費用などは販売店にご相談ください。